



力ネテックのリフティングマグネットが選ばれる理由

■独自の磁極構造

お客様によって、板厚、重量などが異なる多種のワークサイズから特殊鋼材質に至るまで、様々な条件のご要望をいただきます。力ネテックでは、永磁リフマ[®]（※P95参照）をはじめ長年にわたり蓄積されたデータと研究により、そのようなワークに適した磁極構造のリフティングマグネットを開発するとともに、操作性と安全性の向上に努めてまいりました。



■豊富なバリエーション

ハンドル操作角度がON↔OFFまで60度、狭い場所でもご利用いただける高い汎用性を持つLPR-VNシリーズ、枚数制御機能や遠隔操作など作業の効率化と作業員の安全確保に配慮したLMEシリーズなど、様々なご使用環境に対応可能な各種モデルを多数取り揃えております。



■信頼のフォローオン体制

お客様の安全なご使用環境を永く支えるため、ご要望に応じて保守点検にお伺いし吊り上げ能力確認試験を実施しております。また実際に現場へお伺いしてリフティングマグネットの使用方法をアドバイスするなど、ご購入いただいた後のフォローオン体制も高くご評価いただけております。

長尺の鋼材・丸棒・パイプを安全に吊り上げ出来る、LPR-VN専用の天秤（ビーム）を用途に合わせ製作致します。

ご使用に際して

リフマはワークの板厚などにより能力が大幅に異なります。

■吸着力

吸着物の厚みや吸着物とマグネットとの間の空隙の大小、および吸着物の材質などによって、得られる吸着力は大巾に違ってきます。右の図をご参照ください。

■最大吸着力

吸着物の厚みが充分に厚く、吸着表面にゴミや突起がなく密着し、吸着面が全面吸着した状態で材質が軟鋼SS400の場合等、最も条件が整った状態での吸着力を上限とみなし、最大吸着力として表わします。

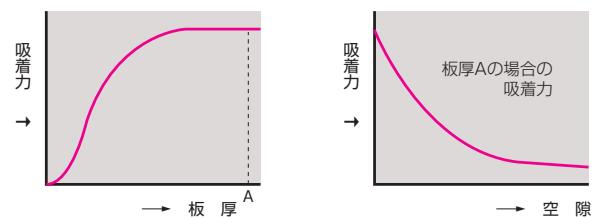
■吊上能力

最も条件が整った状態での吸着力を最大吸着力と呼び、電磁リフマ（LMU、LMU-SR、LM-EP形）とバッテリーエースではその1/2、永磁リフマのLPR-VN形、LPH形、永電磁リフマLEP-Q形で1/3、PL形と永電磁リフマで1/4を、マグネットの能力の目安として吊上能力と称しています。しかし、吸着物の厚みが薄い場合などには、吊上能力で表示した重量を吊ることも困難になります。（板厚が薄いと、吸着力が低下します。）

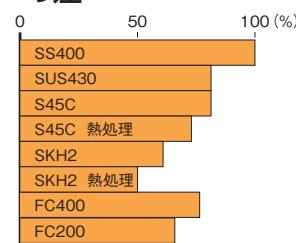
■吊上物のサイズ決定

吊上げる鋼板などのサイズは板厚、たわみ・ゴミなどによる空隙、吸着面積、材質、吊荷のバランスなどの条件と安全係数を考慮して、決めていただくことになります。

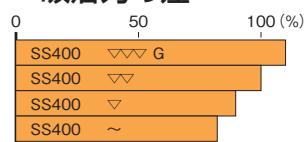
■板厚と空隙による吸着力の変化



■材質による吸着力の差



■吸着面粗さによる吸着力の差



リフティングマグネットの
引合シートはこちらのQRコードから



標準品ラインアップは次のページから